

土 管 七六〇〇 二百八十五本ノ三分ノ一ヲ下水用ニ利用セララルルモノトシ一本八錢
 燃 料 七四〇〇 一駄二十錢ノモノ三十七駄

第五款 鑑定及協議

鑑定協議

法律第五條及第六條ニ依ル價額ノ鑑定ハ政府ハ鑑定人ノ意見ニ拘束セララルヘキモノニ非サルヲ以テ必シモ其ノ鑑定額ヲ以テ價額ノ決定ヲ爲スノ必要ナキモ調査施行上不當ナル鑑定價額ヲ見ル如キハ努メテ之ヲ避クルヲ良策ト認メタルヲ以テ鑑定人ノ選定ニハ特ニ慎重ニ意ヲ用ヒタリ即チ省令第十三條ニ於テハ鑑定人ハ二名以上トシ其ノ半數ハ專賣官吏以外ヨリ選定スヘキモノト定メタルヲ以テ一區域五名ノ定員ト爲シ其ノ中二名ヲ專賣官吏ヨリ選定シ他ノ三名ノ中一名ハ必稅務官吏ヨリ選定スヘキコトトシ左ノ如ク區分ヲ爲セリ尤土地ノ利用加工等ニ關シ特ニ必要アルトキハ農業者又ハ水産家一人ヲ加ヘ左記ノ内專賣官吏以外ノ者ヨリ其ノ一人ヲ減スルヲ得ルコトト爲セリ

- 專賣官吏(當該調査官吏ヲ除ク) 二人
- 稅務署長又ハ土地主任ノ稅務官吏 一人
- 公吏又ハ地方名望家 一人
- 實業者 一人

鑑定人ノ選定ハ本調査著手前各專賣支局長ヲシテ之ヲ豫選セシメ豫選ニ際シテハ專賣官吏以外ニ在リテハ事故ノ爲鑑定ニ從事スルコト能ハサル場合之ニ代ハルヘキ同數ノ豫備員ヲ選定稟申セシメタリ而シテ鑑定人ハ其ノ事務ノ性質上克ク其ノ地方ノ事情ニ精通シ土地建物設備器具器

械ニ對スル鑑識上ノ知能ヲ有シ常識ニ秀テタル者ナラサルヘカラス殊ニ官吏以外ノ鑑定人ニ在リテハ其ノ人物最公平廉白ニシテ地方一般カ之ニ信賴倚服スルニ足ルヘキ適當ノ人物ヲ必要トセリ故ニ之カ人選ニ關シテハ支局長ヲシテ特ニ意ヲ用ヒシメ或ハ府縣當局者稅務署長等ノ意見ヲ求メ最適當ト認ムルモノヲ選定稟申セシムルコトトシタリ此ノ如クシテ鑑定人ノ選定ニハ頗ル慎重ニ相當人物ヲ舉クルコトニ努メタルヲ以テ各地何レモ其ノ人ヲ得テ極メテ圓滿ナル結果ヲ得タリ

鑑定區域ハ三春專賣支局鶴岡派出所名古屋專賣支局大聖寺三方ノ各派出所區域ヲ各別ニ一區トナシ熊本專賣支局直轄ト町山口出張所トヲ合併シテ一區トナシタル外一出張所區域所屬派出所區域ヲ含ムヲ以テ一鑑定區域トナシ各一組ノ鑑定人ヲ選定シタリ然レトモ二以上ノ稅務署管内ニ跨レルモノニ在リテハ稅務官吏ヨリ選定スル鑑定人ハ稅務署管轄區域毎ニ選出シ交代セシメ一稅務署管内ヲ二鑑定區域ニ分テルモノニ在リテハ一人ノ稅務官吏ヲシテ二區域ヲ通シテ之ニ當ラシメタリ

鑑定ハ大概十一月中旬ニ著手シ十二月中旬ヲ以テ終了セリ而シテ土地ニ對スル鑑定人ノ意見ハ多クハ調査價額ヲ是認シ之ト同一價額ノ鑑定ヲ見ルニ至リ水戸三春小出雲神戶熊本ノ各專賣支局管内ニテ一致セサリシモノ僅ニ數件アリシノミ而シテ再鑑定ヲ要求スルニ至リシハ水戸專賣支局及三春專賣支局管内ニテ各一製鹽場ノミニシテ他ハ何レモ鑑定價額ニ據リタル專賣局長官ノ決定ニ承服シタリ建物設備器具器械ニ對シテハ協議調ハスシテ鑑定ニ付スルニ至リタルハ水戸專賣支局管内ニテ二製鹽場分三春專賣支局管内ニテ一製鹽場分ノミニシテ前者ニ對スル鑑定人ハ本局ヨリ特派シタル技術官ノ意見ヲ可トシ之ニ依リ鑑定シ後者ニ對スル鑑定人ハ設備ヲ除ク外調査額ト相違セル價額ヲ以テ鑑定シタリ

各鑑定人ノ意見ハ三春專賣支局管内一製鹽場分ノ土地ニ於テ專賣官吏ヨリ選定シタル鑑定人ト其ノ他ノ鑑定人ト意見一致セサルモノアリテ同一物件ニ對シ各別ニ鑑定書ヲ作成シタルモノアルノ外各鑑定人ハ全部意見ヲ異ニセシモノナク何レモ一物件ニ對シ一通ノ鑑定書ヲ作成シタリ三春專賣支局管内ニテ鑑定人ノ意見ノ分ルルニ至リタルハ青森縣東津輕郡野内村ニ於ケル海水製鹽場ノ敷地ニシテ該地カ鑛泉地ニシテ其ノ賣買事例絶無ナル爲之カ價額ノ見積頗ル困難ニシテ全ク據ルヘキ標準ナキニ由レリ青森出張所ノ調査ハ該地附近一帶ニ井ヲ穿ツトキハ溫泉容易ニ湧出スルヲ以テ宅地ノ時價ニ溫泉潑溜池ノ新設ニ要スル工費ヲ加算シタル價額ヲ以テ標準トシタルモノニシテ一部鑑定人ハ之ヲ首肯スルニ至ラス達觀ヲ以テ鑑定シタル爲終ニ一致ヲ缺クニ至リシナリ

建物設備器具器械ニ對スル價額ノ協議ハ交付金決定上最樞要ナル事項ニシテ協議ニ對スル施設ノ適否ハ直接ニ重大ナル結果ヲ來スヲ以テ最慎重之ニ當ルノ肝要ナルヲ認メ原則トシテハ支局長自ラ之ニ任セシムルコトトシ協議ノ容易ナル見込アルモノハ出張所長又ハ支局ニ於ケル事業課長ヲシテ其ノ衝ニ當ラシメタリ幸ニシテ申請者ノ多クハ政府ノ調査ヲ信賴シ調査價額ヲ以テ申請セルモノ少ナカラサリシヲ以テ是等ハ其ノ申請額ト同額ヲ以テ何等故障ナク協議成立スルヲ得タリト雖申請人カ各自其ノ見込價額ヲ以テ申請シタルモノニ在リテハ其ノ申請價額ハ調査價額ヲ超ユルモノ多ク甚キハ十數倍ノ多額ニ上レルアリ是等ハ一々調査價額以內ヲ以テ承諾方ヲ交渉セル爲協議頗ル困難ニシテ容易ニ進捗ヲ見ルヲ得サルモノアリシモ調査ノ順序方法ヨリ其ノ算定ニ至ル結果ヲ説明シ政府ノ調査ニハ一點ノ非難ヲ容ルル餘地ナキコトヲ自覺セシメ且又極メテ親切ヲ主トシテ當事者ト交渉シタルニ依リ折衝ヲ重ヌルニ從ヒ意思漸ク接近シ終ニ協議ヲ調フルニ至リタリト雖動モスレハ申請者相連絡シテ不當ノ請求ヲ固執セムトスルアリ表面

ニハ強硬ヲ裝ハスシテ再考ノ猶豫ヲ要求スルアリ或ハ又一見協議ニ應スル内意有ルカ如クシテ即答ヲ避クルアリ其ノ價額ノ間隔遠キモノニ在リテハ交渉遅々トシテ進捗セス事態不調ニ歸セムトスルニ至リシモノアリシモ協商ニ力メタリシ結果協議不調ニ終リシハ僅ニ水戸專賣支局管内ニ二製鹽場三春專賣支局管内ニ一製鹽場アリシノミニシテ他ハ悉ク協議ヲ調フルヲ得タリ水戸專賣支局管内ニ於ケル二製鹽場ニ對シテハ支局長ハ再三再四當事者ト面議ヲ重子シモ其ノ主張タルヤ事業上注加セシ費用ノ回收ヲ目的トナシ交付金ヲ下付スヘカラサル部分ニ對シテモ尙計算ニ上セルモノノ如ク協議成立ノ見込無キニ至レルヲ以テ今一應支局調査ノ正確ヲ期スル必要ヲ認メ特ニ専門技術官ヲ派シ實地念調セシムルコトトナシ技師山縣諭一、同有福和一、技手小野田廣吉ヲシテ各専門的ニ之カ調査ヲ爲サシメシ結果更ニ協議ニ力メタリシモ竟ニ之ヲ調フルニ至ラス三春專賣支局ニ於ル一製鹽場ノ分亦協議頗ル難ク交渉數次僅ニ讓歩ノ意ヲ表スルニ至リシト雖元々申請額尨大ニシテ協定ノ見込殆ト絶ユルニ至リシヲ以テ更ニ再考ヲ促シ協定スルノ利ナルヘキコトヲ懇諭シ一方ニハ囑託員ニ諮リ支局調査ニ再考ノ餘地ナキヤヲ究メ引續キ協議シタリシモ申請人ハ頑トシテ更ニ應スルノ色ナク三春專賣支局長ハ自ラ實地ニ臨ミ慎重ニ視閲ヲ遂ケ直接懇議ヲ試ミタリシモ別ニ進境ヲ見ルニ至ラス終ニ協議不調ニ終リシハ實ニ整理事業ニ於ケル唯一ノ恨事ナリキ

第三節 明治四十四年度整理

第一款 準備調査

著手調査區域調査員ノ指定、調査囑託、標準價格

明治四十四年度ニ於テ整理ニ關係アルハ味野、尾道、三田尻、阪出、撫養、熊本、鹿兒島ノ七支局ナルモ阪